

子ども家庭福祉分野における研修の取り組み (要保護児童対策調整機関専門職研修を中心に)

通信教育科

准教授 佐竹 要 平

最初に、通信教育科社会福祉一般養成課程の佐竹から発表させていただきたいと思います。普段は、リカレント教育で社会人の方を対象としまして、1年6カ月で社会福祉士の受験資格を取得できる課程の主任をしています。それと併せまして、子ども家庭福祉分野での研究をしてるので、今回、子ども家庭福祉分野における本学の取り組み、特に2017年以降、本学の子ども家庭福祉分野の教員とともに取り組みました研修、要保護児童対策調整機関専門職研修を中心に発表したいと思っております。

報告のほうですが、私の持ち時間20分ということで、3点の項目について話していきたいと思います。子ども家庭福祉分野における、研修制度の実施の背景に基づきまして本学で取り組んできた内容を1点から5点、そして最後に、本学ではないんですが、現在、話題になってます子ども家庭福祉士という新たな国家資格について、私なりに論点というのを整理していきたいと思っております。

最初にですが、この研修制度が出てくる背景というのを見ていきたいと思います。一つ目が児童福祉法の改正のため、社会保障審議会の児童部会が開催されました。それが2015年に開かれた部会の中で新たな子ども家庭福祉の国家資格が必要ではないかということを発言されてる委員がいらっしゃいまして、それに対し、社会福祉士会であったりとか、その当時でいう社養協という社会福祉士を養成する学校などについては、反対意見などを述べて、最終的には2016年の3月に報告書、『新たな子ども家庭福祉の在り方に関する専門委員会報告』の中で、児童福祉司については一

定基準に適合する研修の受講を義務付けるべきであるという内容の報告書を出しまして、それに基づいて児童福祉法が2016年の5月に改正されました。

その改正の内容というのは、一つ目は任用前講習会というように児童福祉司になる前の方に対する講習会を義務付けたこと。二つ目が任用後研修というように、児童福祉司に現在従事してる人に対する研修を義務付けた。3点目は実務経験がある方を対象としましたスーパーバイザーの研修について義務付けたこと。4点目としましては、市町村などに置かれてます、要対協の調整する専門職の研修を義務付けたという内容になっています。

それを具体的に図で示すと、社会福祉主事を持っている人が児童福祉関係に従事して、児童福祉司に就くときは任用前の講習会といわれるもの、これが新たに義務付けていて、2番目に書かれているのが任用後、児童福祉司に従事している人に対して必ず任用後の受講を義務付けている。3番目に5年以上児童福祉司としての経験のある方についてはスーパーバイザーとしての講習会を受けて、スーパーバイザーになりなさいというような、児童福祉司に対しては三つの研修が新たに設けられたということです。以前から児童福祉司につきましては、中央福祉学院などで、通信で児童福祉司の任用資格を取得できるものであったりとか、武蔵野学院という児童自立支援施設で、住み込みで学ぶような課程というのがあるんですが、新たに追加したという内容になります。

要対協についてです。要対協というのは平成16年、2004年に児童福祉法に法定化されて、市町村などに子ども関係の関係機関を調整し、そし

て連携して課題に対応する要保護児童対策地域協議会、略して要対協というものが設置されるようになりました。そこを調整する調整機関というのが必ず1カ所、ほとんどが市町村の担当部局、児童福祉課であったりとか、子育て支援課というような担当部局が会議の運営を行ったりとか、あとケースの管理をしたりというようなことを中心に行う調整機関も設置しなければならない、そこには専門職を配置しなさいということで、平成29年現在、8235人がこの調整機関に所属して配置されているという形になります。その調整する職員に対しても研修を義務付けたというのが、今回の児童福祉法の改正の内容になります。

具体的にどういったカリキュラムになっているのかというと、座長が関西大学の山縣先生で「子ども家庭福祉自体の専門性確保ワーキンググループ」が何回か持たれてきてカリキュラムが検討されました。それぞれ任用前の講習会、任用後の研修、そしてスーパーバイザー研修、そして要対協の専門職研修となっているのですが、トータル目標を定めたり、研修時間、期間とかを決めています。

実施主体としましては都道府県、指定都市、児童相談所設置市というように基本的に児童相談所の設置する所は自分たちの所でやることになります。都道府県等から委託を受けることで、学校法人、株式会社等が研修を実施できます。そういうような委託という形で学校法人である日本社会事業大学が実施することになりました。

細くなるんですが、それぞれの科目になります。任用前は13科目20コマ30時間、任用後は8科目20コマ30時間、スーパーバイザー研修は11科目19コマ28.5時間、要対協研修では12科目19コマ28.5時間というような時間が割り当てられてます。内容としましては下のほうに書いてありますが、講義と演習というように、例えば講義1コマ、演習1コマというように、課目によっては講義だけではなく演習も含めて行いなさいというようなことも設定されております。

このようなカリキュラムを受けて、本学でモデ

ル事業ということでいち早く取り組みました。このカリキュラム検討というのは2016年の秋ぐらいから始まって2017年ぐらいに大体、こういうカリキュラムになりますよということが案として出てきて、正式には、2017年の4月1日から研修の義務化するのですが、それ以前にいち早く、そのカリキュラム案を参考に実施しようということで、本学の通信教育科、で取り組むようになりました。

開催は2017年2月25日の土曜日と26日の日曜日という2日間、モデル事業ですので本来の研修、全てを実施するというわけではなく、その中からピックアップして科目を選んで行いました。参加したのが演習と講義の部分は42名、全国の市町村、児童相談所関係者など、あと本学の卒業生なども含めて子ども家庭福祉の分野に従事されてる方、興味のある方に参加していただきました。2日目にはシンポジウムを持ちました。講堂を会場としまして120人近くが参加した内容になっています。主催は本学ですが、全国生活協同組合連合会からの助成を受けて実施しています。

具体的なカリキュラムになりますが、科目としては「子どもの虐待対応について」というのと、「要保護児童対策協議会について」、そして2日目には「子ども家庭支援のためのソーシャルワークについて」というような三つの科目を実施して、2日目の午後はシンポジウム、『求められる子ども家庭福祉人材の専門職養成』ということで、『市町村の専門性向上を目指して』という講演をワーキングのメンバーであります山縣先生、そして坂入先生、鈴木先生にシンポジウムに登壇していただき、今後、市町村がどういった専門性を向上できるのかということを議論していただきました。

このモデル事業を受けまして、本格的に法定化された要対協の義務研修というのを取り組みました。引き続き通信教育科の金子通信教育科長を中心に行いました。それは2017年の8月2日から8月5日の4日間で実施しました。参加したのは4県3市、これはそれぞれの自治体から委託契約を結びまして、本学の要対協の研修に出席して無

事、修了すると、それぞれの自治体から修了証を発行する、そういうような契約を結びまして、本学の研修を受けるイコールそれぞれの自治体の研修の代わりになりますという契約を結び、全国から106名の方が参加しました。

具体的にこの研修やってみて感じたことは、要対協の調整職員として社会福祉士の方というのもある一定数いましたが、多いのが保健師や保育士の方が市町村での調整機関の調整職員として従事されている。いろいろな職員の方によって担われてるということが、この研修をやっている感じになります。

実際のカリキュラムにつきましては、資料からは省かせていただきましたが、本学、子ども家庭福祉の先生が複数いらっしゃいますので、私を含めて7人の先生に関連する科目を持っていただきました。

そういう要対協の研修を実施した後、この実績等を踏まえ新たに取り組んだのが児童福祉司等義務研修テキストに関する調査研究事業というものになります。これは厚生労働省の子ども家庭局が募集してます「子ども子育て支援推進調査研究事業」に応募して取り組んだものになりまして、実施期間としましては2017年の10月1日から翌年度の18年の3月31日という約半年の間で行いました。研究代表は金子恵美先生です。目的は、義務化された研修についての内容の充実と共有化を図るため、通知に示された科目、細目について共通した取得すべき知識や技術を示し、標準のテキスト案を作成することです。科目であったり項目は指定はしているけれど、具体的にどういう内容なのかということをこの調査研究事業を通じて、全国のいろんな自治体で使えるようなテキスト案、主に講師の方が参考できるテキスト案を作るというのが、この研究会のタスクになってました。

方法としましては全国から研究者、実践者を招聘して研究会を開催し、標準テキスト案の内容に関して検討しました。多くの学ぶべき内容のうち、限られた時間内で教示することについて、こ

の研究会では各細目、1ページにまとめるように原稿を作って、その内容を精査しました。大切なのは、例えば東京だったらできるけれども他の自治体ではできないというような項目であったりということをしてしないで、全国どこの自治体であっても取り組めるような内容を精査しなければならないということです。成果物としましては任用前講習会のテキスト案、そして任用後研修のテキスト案、そして要対協の担当者研修のテキスト案という3冊ということを行いまして、それぞれ科目の中の任用前と任用後というのを内容あった場合には、それぞれの研修ではどういう狙いがあるのかということ細かく内容を示したということになります。

1回目のときに重要なところは、科目をただ単にそれぞれの科目で検討するというのはなかなか難しいということで、その科目からグループを作ろうということで主に6つ、「子どもの発達」の科目のグループ、そして「虐待対応」のグループ、そして子ども「家庭福祉の法制度」のグループ、そして「社会的養護」のグループ、「ソーシャルワークの方法」に関する科目のグループ、そして「要対協、児相の運営」に関する科目のグループというグループを作り、その中で委員を割り振りまして、この科目について検討してくださいというようなことを第1回目の研究会で行っています。

第1回目が12月に終わりました後、執筆者の候補を上げて年末に1回、コアになる先生を中心にこの検討をしまして、年始、正月明けにすぐに各先生に執筆を依頼しました。提出していただいた先生方の原稿を中心に第2回目、内容を詳しく見てみましょうということで第2回目の研究会を行ったことになります。

第3回目は原稿を各グループでチェックしていただいて、追加するべき項目などはなかったかどうかというのを確認していくというようなことをしました。最終的に科目の漏れがないのか、内容的にダブリがないのか、あと、この項目が全国共通化しているかを確認しました。

各研究会、メンバーは34人いるんですけど、

なかなか全員がそろうということは難しく、大体、一つの1回の研究会に20人前後の先生がた集まりました。この短い6カ月の期間でテキスト案を3冊、作って厚生労働省の方に無事、研究会の報告を納めることができました。

四つ目の本学の取り組みとしましては、昨年、第1回目、2017年に行いました要対協研修というのをさらに、こういうテキストなどの経験を積みまして本学で実施しました。新たに学長プロジェクト室という機関が創設されましたので、その地域貢献センターでセンター長は金子先生です。期間としましては8月1日から8月4日という4日間。この研修は、3県3市から委託を受けてまして職員の方を受け入れ、プラス個人参加の委託契約のない自治体の職員の方が、自分のスキルアップ、質の向上のために参加したいという方が3名ほどいらっしゃいまして、計82名の方が研修に参加しました。

研修のプログラムです。テキストを作りましたので、そのテキストの科目というのを書いていただいた先生を講師の担当の先生にお願いしたということがあります。本学の教員などを中心に行っております。学長プロジェクト室にある災害ソーシャルワークセンターの土屋客員准教授にも講師をお願いしました。

最後の本学の取り組みとしましては、前年度にテキスト案というのを作りまして厚労省の方に提出したんですけど、このテキスト案というのをただ単にホームページで公開するだけではなかなか一般に目が触れないということで、せっかくだから、いろんな方が目に触れられるように出版しようということで明石書店から今年の3月に出版しています。内容としましては、児童福祉司研修として、任用前と任用後のテキストを合冊しました。プラス、新たに最近の動向に演習とか事例検討、ロールプレーのやり方について加筆しました。

そういうようなもので、このテキストというのを『児童福祉司の研修テキスト』、副題としましては『児童相談所職員向け』、そして『要保護児童対策調整機関専門職研修テキスト』、市町村な

どの『基礎自治体職員向け』という2冊を完成させております。こういうような取り組みを行っています。

以上で私の発表になります。

人に向きあうソーシャルワーク
ーいま日本の福祉を考えるー

子ども家庭福祉分野における
研修の取り組み
(要保護児童対策調整機関専門職研修を中心に)

通信教育科 社会福祉士一般養成課程

准教授 佐竹 要平

発表次第

- 1 研修実施の背景
- 2 本学での取り組み
 - ①モデル事業
 - ②第1回 要対協研修
 - ③「児童福祉司等の義務研修テキスト作成に関する調査研究」事業
 - ④第2回 要対協研修
 - ⑤『児童福祉司研修テキスト』
『要保護児童対策調整機関専門職研修テキスト』出版
- 3 「子ども家庭福祉士」(仮称)の論点

1. 研修実施の背景

要保児児童対策地域協議会の概要

果たすべき機能

- 大規模児童虐待の早期発見や適切な保護や支援を図るためには、
- ・関係機関が当該児童虐待に関する情報や考え方を共有し、
 - ・適切な連携の下で対応していくことが重要
- であり、市町村において、要保児童虐待対策協議会を設置し、
- ① 関係機関相互の連携や役割分担の明確化を行う機関を明確にするなど、責任体制を明確化するとともに、
 - ② 個人情報等の適切な保護と関係機関における情報共有の取組を明確化することが必要



資料：2018年12月厚生労働省子ども家庭局

5

1. 研修実施の背景

児童福祉司等の義務化された研修のカリキュラム等について

	児童福祉司新任用者研修会	児童福祉司新任用者研修	児童福祉司スーパーバイザー研修	要保児童虐待対策協議会専門研修
研修目標	知識、態度について 2つの項目	知識、技術、態度について 15つの項目	知識、技術、態度について 87項目	知識、技術、態度について 21項目
研修時間	2日間(80分×2コマ) 講義を中心に演習と一斉研修 実施	2日間(80分×2コマ) 演習を中心に講義と一斉研修 実施	2日間(80分×18コマ) 演習15コマ、講義4コマ	2日間(80分×18コマ) 講義13コマ、演習8コマ
研修期間	5日間程度 (研修期間が概ね1月以内)	5日間程度 (研修期間が概ね6月以内)	0.5日または1日程度 (研修期間が概ね3日以内)	5日間程度 (研修期間が概ね3日以内)
実施主体	研修前編、指定研修、児童福祉司設置状況は研修を適切に実施すると認められる団体として研修前編等から委託を受けた法人 ※スーパーバイザー研修については、平成29年度は試行的実施			
講師	講師は各担当を教養するのに適任な者であること			
研修の終了	振り返り(レポート作成等)、修了証の交付、修了の記録(修了者簿等による管理)			

資料：2018年12月厚生労働省子ども家庭局

6

1. 研修実施の背景

児童福祉司等の義務化された研修のカリキュラム等について

[illegible]

的「國家」是以前，在「社會」的基礎上，當局以國家各機關來支配社會，

資料・2018年12月厚生労働省子ども家庭局

7

2. 本学での取り組み

① モデル事業【概要】

(1)要保護児童対策調整機関の専門職研修会(モデル事業)

- ・実施: 本学通信教育科
- ・会場: 本学清瀬キャンパス
- ・開催日: 2017年2月25日(土)～2月26日(日)
- ・参加者: 演習・講義 42名
シンポジウム 120名

- ・主催 学校法人 日本社会事業大学
- ・後援 一般社団法人 日本社会福祉教育学校連盟
社会福祉法人 日本保育協会
公益財団法人 資生堂社会福祉事業財団
日本子ども家庭福祉学会
- ・助成 全国生活協同組合連合会助成事業

8

2. 本学での取り組み

- ③「児童福祉司等の義務研修テキスト作成に関する調査研究」事業【概要】
- ・厚生労働省子ども家庭局
平成29年度 子ども・子育て支援推進調査研究事業
 - ・実施期間:2017年10月1日～2018年3月31日
 - ・研究代表:金子恵美(本学教授)
研究主任:佐竹要平(本学講師)
 - ・目的:義務化された研修について、内容の充実と共有化を図るために、通知に示された科目・細目について、共通して修得する知識(ミニマム)を示す「標準テキスト案」を作成すること

11

2. 本学での取り組み

- ③「児童福祉司等の義務研修テキスト作成に関する調査研究」事業【概要】
- ・方法:全国から研究者、実践者を招聘して研究会を開催し、標準テキスト案の内容に関して検討した。多くの学ぶべき内容のうち、限られた時間内で教授する内容について整理し、各科目の細目を1ページ以内にまとめることとした。そして、それぞれが執筆した原稿について、研究会において検討し、精査した。
 - ・成果物:①児童福祉司任用前講習会
②児童福祉司任用資格後研修
③要保護児童対策調整機関調整担当者研修
の3冊であるが、同一細目は同様の内容とし、「任用前」と「任用後」の修得内容の違いについては「科目のねらい」において示した。

12

③「児童福祉司等の義務研修テキスト作成に関する調査研究」事業【委員】

[illegible]

2. 本学での取り組み

③「児童福祉司等の義務研修テキスト作成に関する調査研究」事業【研究会内容①】

＜議事次第＞

1. 挨拶
 2. 研究会の委員・役割の確認
 3. 科目群の確認
 4. テキスト執筆内容の検討
 5. 今後の研究会スケジュールの確認
 6. その他
- <分科会>
7. 各科目のキーワードの抽出

第1グループ「子どもの発達」「虐待対応」

第2グループ「子ども家庭福祉の法制度」「社会的養護」

第3グループ「ソーシャルワークの方法」「要対協・児相の運営」

・「児童福祉司等の義務研修テキスト作成に関する調査研究会」委員一覧

・科目群一覽

・テキスト科目イメージ(事務局案)

・スケジュール案

・「児童福祉司等及び要保護児童対策調整機関の調整担当者の研修等の実施について」
(雇児発0331第16号・平成29年3月31日)

2. 本学での取り組み

③ 「児童福祉司等の義務研修テキスト作成に関する調査研究」 事業【研究会内容②】

平成30年1月27日(土) 11:00～17:00 於: TKP品川カンファレンスセンター

< 議 事 次 第 >

1. 挨拶
2. 前回の検討事項の確認
3. テキスト執筆状況
4. 今後の研究会スケジュールの確認
5. その他

<分科会>

6. 各科目の原稿の確認
第1グループ「子どもの発達」「虐待対応」
第2グループ「子ども家庭福祉の法制度」「社会的養護」
第3グループ「ソーシャルワークの方法」「要対協・児相の運営」

【資料】

- ・「児童福祉司等の義務研修テキスト作成に関する調査研究会」委員一覧
- ・第2回出席者名簿
- ・第1回「調査研究会」における検討事項
- ・執筆者一覧
- ・スケジュール案
- ・テキスト執筆原稿

15

2. 本学での取り組み

③ 「児童福祉司等の義務研修テキスト作成に関する調査研究」 事業【研究会内容③】

平成30年2月17日(土) 11:00～17:00 於: TKP品川カンファレンスセンター

< 議 事 次 第 >

1. 挨拶
2. テキスト執筆状況
3. リーダー会議の報告
4. その他

<分科会>

5. 研修毎の原稿の確認
第1グループ「子どもの発達」「子ども家庭福祉の法制度」「社会的養護」
第2グループ「ソーシャルワークの方法」「要対協・児相の運営」「虐待対応」

<検討事項>

- ・前回研究会での未確認原稿のチェック
- ・各科目の細目順の検討
- ・任用前と任用後の追加すべき内容の検討

【資料】

- ・「児童福祉司等の義務研修テキスト作成に関する調査研究会」委員一覧
- ・第3回出席者名簿 ・研修科目群 ・スケジュール案
- ・「児童福祉司等の義務研修テキスト作成に関する研究調査会」再校送付について
- ・要保護児童対策調整機関の専門職の到達目標と研修科目
- ・テキスト執筆原稿(研修毎)

16

2. 本学での取り組み

③ 「児童福祉司等の義務研修テキスト作成に関する調査研究」 事業【研究会内容④】

平成30年3月17日(土) 15:00～17:00 於: TKP品川カンファレンスセンター

< 議 事 次 第 >

1. 挨拶
2. リーダー会議の報告
3. テキスト案の確認
4. その他

【資料】

- ・第4回出席者名簿
- ・テキスト案(研修毎)

17

2. 本学での取り組み

④ 第2回要対協研修【概要】

(1) 2018年度要保護児童対策調整機関調整担当者研修

- ・実施: 本学学長プロジェクト室 地域貢献センター
- ・開催日: 2018年8月1日(水)～8月4日(土)
- ・参加者: 3県・3市・個人参加

計 82名

18

2. 本学での取り組み

⑤ 『児童福祉司研修テキスト』

『要保護児童対策調整機関専門職研修テキスト』 出版

- ・明石書店
- ・B5 192ページ
- ・2500円(税別)
- ・2019年3月31日
- ・編集代表＝金子恵美(日本社会事業大学 教授)
- 編 集＝佐竹要平(日本社会事業大学 准教授)
- 安部計彦(西南学院大学 教授)
- 藤岡孝志(日本社会事業大学 教授)
- 増沢 高(子どもの虹情報研修センター 研修部長)
- 宮島 清(日本社会事業大学 教授)

19



20

吳偉英
何偉明
譚國華



● 400-000-2500 (400 000 2500)
● 100-000-2500 (100 000 2500)

Dr. Fred B. Roth, F.R.S.
 1905, 1906, 1907, 1908, 1909, 1910, 1911, 1912, 1913, 1914, 1915, 1916, 1917, 1918, 1919, 1920, 1921, 1922, 1923, 1924, 1925, 1926, 1927, 1928, 1929, 1930, 1931, 1932, 1933, 1934, 1935, 1936, 1937, 1938, 1939, 1940, 1941, 1942, 1943, 1944, 1945, 1946, 1947, 1948, 1949, 1950, 1951, 1952, 1953, 1954, 1955, 1956, 1957, 1958, 1959, 1960, 1961, 1962, 1963, 1964, 1965, 1966, 1967, 1968, 1969, 1970, 1971, 1972, 1973, 1974, 1975, 1976, 1977, 1978, 1979, 1980, 1981, 1982, 1983, 1984, 1985, 1986, 1987, 1988, 1989, 1990, 1991, 1992, 1993, 1994, 1995, 1996, 1997, 1998, 1999, 2000, 2001, 2002, 2003, 2004, 2005, 2006, 2007, 2008, 2009, 2010, 2011, 2012, 2013, 2014, 2015, 2016, 2017, 2018, 2019, 2020, 2021, 2022, 2023, 2024, 2025, 2026, 2027, 2028, 2029, 2030, 2031, 2032, 2033, 2034, 2035, 2036, 2037, 2038, 2039, 2040, 2041, 2042, 2043, 2044, 2045, 2046, 2047, 2048, 2049, 2050, 2051, 2052, 2053, 2054, 2055, 2056, 2057, 2058, 2059, 2060, 2061, 2062, 2063, 2064, 2065, 2066, 2067, 2068, 2069, 2070, 2071, 2072, 2073, 2074, 2075, 2076, 2077, 2078, 2079, 2080, 2081, 2082, 2083, 2084, 2085, 2086, 2087, 2088, 2089, 2090, 2091, 2092, 2093, 2094, 2095, 2096, 2097, 2098, 2099, 2100, 2101, 2102, 2103, 2104, 2105, 2106, 2107, 2108, 2109, 2110, 2111, 2112, 2113, 2114, 2115, 2116, 2117, 2118, 2119, 2120, 2121, 2122, 2123, 2124, 2125, 2126, 2127, 2128, 2129, 2130, 2131, 2132, 2133, 2134, 2135, 2136, 2137, 2138, 2139, 2140, 2141, 2142, 2143, 2144, 2145, 2146, 2147, 2148, 2149, 2150, 2151, 2152, 2153, 2154, 2155, 2156, 2157, 2158, 2159, 2160, 2161, 2162, 2163, 2164, 2165, 2166, 2167, 2168, 2169, 2170, 2171, 2172, 2173, 2174, 2175, 2176, 2177, 2178, 2179, 2180, 2181, 2182, 2183, 2184, 2185, 2186, 2187, 2188, 2189, 2190, 2191, 2192, 2193, 2194, 2195, 2196, 2197, 2198, 2199, 2200, 2201, 2202, 2203, 2204, 2205, 2206, 2207, 2208, 2209, 2210, 2211, 2212, 2213, 2214, 2215, 2216, 2217, 2218, 2219, 2220, 2221, 2222, 2223, 2224, 2225, 2226, 2227, 2228, 2229, 2230, 2231, 2232, 2233, 2234, 2235, 2236, 2237, 2238, 2239, 2240, 2241, 2242, 2243, 2244, 2245, 2246, 2247, 2248, 2249, 2250, 2251, 2252, 2253, 2254, 2255, 2256, 2257, 2258, 2259, 2260, 2261, 2262, 2263, 2264, 2265, 2266, 2267, 2268, 2269, 2270, 2271, 2272, 2273, 2274, 2275, 2276, 2277, 2278, 2279, 2280, 2281, 2282, 2283, 2284, 2285, 2286, 2287, 2288, 2289, 2290, 2291, 2292, 2293, 2294, 2295, 2296, 2297, 2298, 2299, 2300, 2301, 2302, 2303, 2304, 2305, 2306, 2307, 2308, 2309, 2310, 2311, 2312, 2313, 2314, 2315, 2316, 2317, 2318, 2319, 2320, 2321, 2322, 2323, 2324, 2325, 2326, 2327, 2328, 2329, 2330, 2331, 2332, 2333, 2334, 2335, 2336, 2337, 2338, 2339, 2340, 2341, 2342, 2343, 2344, 2345, 2346, 2347, 2348, 2349, 2350, 2351, 2352, 2353, 2354, 2355, 2356, 2357, 2358, 2359, 2360, 2361, 2362, 2363, 2364, 2365, 2366, 2367, 2368, 2369, 2370, 2371, 2372, 2373, 2374, 2375, 2376, 2377, 2378, 2379, 2380, 2381, 2382, 2383, 2384, 2385, 2386, 2387, 2388, 2389, 2390, 2391, 2392, 2393, 2394, 2395, 2396, 2397, 2398, 2399, 2400, 2401, 2402, 2403, 2404, 2405, 2406, 2407, 2408, 2409, 2410, 2411, 2412, 2413, 2414, 2415, 2416, 2417, 2418, 2419, 2420, 2421, 2422, 2423, 2424, 2425, 2426, 2427, 2428, 2429, 2430, 2431, 2432, 2433, 2434, 2435, 2436, 2437, 2438, 2439, 2440, 2441, 2442, 2443, 2444, 2445, 2446, 2447, 2448, 2449, 2450, 2451, 2452, 2453, 2454, 2455, 2456, 2457, 2458, 2459, 2460, 2461, 2462, 2463, 2464, 2465, 2466, 2467, 2468, 2469, 2470, 2471, 2472, 2473, 2474, 2475, 2476, 2477, 2478, 2479, 2480, 2481, 2482, 2483, 2484, 2485, 2486, 2487, 2488, 2489, 2490, 2491, 2492, 2493, 2494, 2495, 2496, 2497, 2498, 2499, 2500, 2501, 2502, 2503, 2504, 2505, 2506, 2507, 2508, 2509, 2510, 2511, 2512, 2513, 2514, 2515, 2516, 2517, 2518, 2519, 2520, 2521, 2522, 2523, 2524, 2525, 2526, 2527, 2528, 2529, 2530, 2531, 2532, 2533, 2534, 2535, 2536, 2537, 2538, 2539, 2540, 2541, 2542, 2543, 2544, 2545, 2546, 2547, 2548, 2549, 2550, 2551, 2552, 2553, 2554, 2555, 2556, 2557, 2558, 2559, 2560, 2561, 2562, 2563, 2564, 2565, 2566, 2567, 2568, 2569, 2570, 2571, 2572, 2573, 2574, 2575, 2576, 2577, 2578, 2579, 2580, 2581, 2582, 2583,

姓名	性别	年龄	职业	住址
张三	男	35	教师	北京市海淀区
李四	女	28	医生	上海市浦东新区
王五	男	42	工程师	广东省深圳市
赵六	女	31	会计	浙江省杭州市
孙七	男	25	程序员	北京市昌平区
周八	女	38	销售经理	江苏省南京市
吴九	男	45	律师	山东省济南市
郑十	女	22	学生	河南省郑州市
冯十一	男	33	公务员	四川省成都市
陈十二	女	40	作家	安徽省合肥市

[illegible]

| 附录五

9111 會 話
[E. 24.63.1.1]
[9.2.62.1.1]

- ① 資格を取り巻く環境
- ② 資格作成の手順
- ③ 資格養成の担い手
- ④ 資格取得者の実践の場